

上尾歴史散歩(大石コース)

古代から近代へ

時空を超えての文化財巡り



大石地区はのどかな里山ですが、約2万年前の石器や青銅鏡が発掘され、貴重な古文書・石碑・仏像などが保存されている寺社仏閣が点在しています。これらの文化財などをのんびりと尋ね歩いてみませんか。



大石コース

徒歩約 3.5Km、所要時間約 2.5 時間 (説明含む)

丸山公園自然学習館⇒小林寺⇒諏訪神社⇒徳星寺⇒榎本牧場 (殿山遺跡)
畔吉河岸跡⇒江川山遺跡⇒丸山公園自然学習館

問い合わせ先: あげおアッピーガイドの会(観光ガイド料は無料)

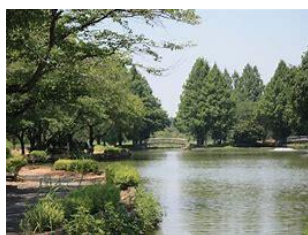
〒362-0042 埼玉県上尾市谷津 2-1-50 上尾プラザ 22 上尾市観光協会内

TEL: 048-775-5917 FAX: 048-775-5024 Eメール: info@ageo-kankou.com

<http://appie.html.xdomain.jp/>



大石コース



丸山公園：丸山公園は市制施行20周年事業として「水と緑の調和」をテーマに、昭和53年5月5日にオープンしました。上尾市の花「つつじ」、木「かし」が植えられ、6月にはアジサイや約1万本の花菖蒲が咲き、秋にはみごとな紅葉など四季を通じて楽しむことができます。

自然学習館、上尾天文台、小動物コーナーなどがあります。

小林寺：感譽存貞上人（かんよぞんていしょうにん）が天文年中（1532~55）に開いたと言われています。御本尊は像高約54cmの木造阿弥陀如来坐像で、江戸時代の作と言われ、両側には法然上人と善導上人が祀られています。

その他に室町時代初期の作と言われる市内で唯一の銅造善光寺式阿弥陀如来及び両脇侍立像が有ります（市指定文化財）。



（上尾市 HP より）

諏訪神社：祭神は建御名方神（命）（タミカタノカミ）です。本殿の欄間に、かご彫りの玉を抱く龍の彫刻が有り、これは大谷本郷の大工、山田浅右衛門弥吉、通称山田弥吉の作と伝えられる見事な彫刻です。また、上尾市指定有形文化財の大山灯籠があります。

民俗芸能として、春の祈禱祭に市指定無形民俗文化財として江戸時代から継承されている「万作踊り」が上演され、秋の例大祭には「ささら獅子舞」が古式ゆかしく厳かに奉納されます。

徳星寺：寺伝によれば、弘法大師創建で真言宗でしたが、永禄6年（1563）天台宗となった。古文書として、岩槻城主太田氏房の印判状と徳川歴代将軍の朱印状が市の文化財です。朱印状には、将軍から寺領3石を与える旨の内容ですが、大変貴重なもので、特に家康の「福德」の印朱印状は、市内唯一の書状で、貴重な文書です。

大榎（材木）の樹は、右手の小高い山にあり、幹周り5.3m、樹高21m、樹齢700~800年といわれています。この大榎を中心とした約4,000㎡に及ぶ一帯はカシ、シイ、アオキなどの暖帯系の林叢であり、昭和48年、県指定の天然記念物になりました。



（上尾市 HP より）

殿山遺跡：昭和52年（1977）から平成元年（1989）までの3回の発掘で、旧石器時代の2,375点の石器を出土した遺跡です。石器の年代は約2万年前です。旧石器時代とは、人類が土器を発明する前の、石を使用していた時代のことです。遺跡内には殿山古墳もあります。

榎本牧場：昭和20年（1945）に上尾市中分で牧場を始め、昭和49年（1974）に現在の場所に移転し、牧場を継続しています。こだわりのジェラートアイスは人気の一品です。

古墳出土銅鏡：明治30（1897）年ごろ、江川山（イガヤマ）古墳を開墾した際、2枚の青銅鏡が出土しました。中国から輸入した鏡を基に弥生時代から古墳時代にかけて日本で製作した鏡です。



（上尾市 HP より）